

1 学期終業式 校長講話

この1学期の間、大きな事故やけがなどがなく、区切りの今日を迎えることができました。令和3年度が始まった春の頃を思うと、この71日間で心も身体も成長したみなさんの姿をうれしく感じます。

始業式・入学式で「チャレンジしよう」「命を大切にしてほしい」という願いを述べました。

「チャレンジしよう」について、「今まで経験しなかったことや辛いことにも向き合わなければいけない時が誰にも訪れます。経験のないことをするときには勇気が必要です。それでも、やる前から尻込みしたり、すぐにあきらめたりすることなく、チャレンジしてみましょう。…」と話しました。

先ほど、各学年の3名のみなさんから、チャレンジしたこと・これからの課題に向けてがんばりたいという発表がありました。それぞれ場面や内容の違いはあっても、自分自身を振り返って、次のステップへ向かう気持ちが感じられました。ありがとうございました。さて、みなさんはどうでしょうか。自分のチャレンジした「よさ」やそれで見えてきた課題が、自分でわかっていますか。学校生活の中で、各学年の行事や活動で、生徒会の活動で、部活動で…など、自分のチャレンジがあったはずです。必ず見つけてください。

学習の面ではどうでしょうか。今年度から通知票の中身が変わりました。

パソコンを例に考えてみましょう。みなさんのタブレットやスマートフォンもパソコンと同じですから、置き換えてイメージしてもよいと思います。

- ・パソコンをつくるには様々な部品（パーツ）が必要です。
- ・それぞれの部品に役割があり、それらを正しく組み合わせます。
- ・部品だけでなく、ソフトも必要です。
- ・電源を入れてちゃんと動いてはじめていろいろなことができます。
- ・つくるときや使うときはいろいろなことを思ったり、考えたりします。

今年度から、通知票の中身が変更になり、各教科の評価について、3つの観点（ABCのところ）となっています。その意味をみなさんに理解しておいてほしいのです。難しい言葉もありますが、自分のことですから、わかっているほしいと思います。家の方にもみなさんから説明できるといいなあと思います。

「知識・技能」 → 様々な部品（パーツ）

「思考・判断・表現」 → いろいろなことができるパソコン

「主体的に学習に取り組む態度」 → 願い・疑問・考え・自分のことがわかる

この話をふまえて、もう一度通知票を見て、自分のチャレンジについて考えてみましょう。

「レントゲン」って知ってますか。身体の中が見える写真です。もしレントゲンを撮って病気などの問題が見つかったらどうしますか。そのままにはしないですね。通知票やテストも同じです。「大丈夫！」「がんばった！」ところを確かめ、「課題」をつかんで、チャレンジしていくためのものです。どうしたらよいか、わかるように先生方も努力していますが、もしわからないときはどうしますか。そのために先生方がいます。活用してください。

もう 1 つは、たった一つしかない命、生きていることを大事にするということです。新しい友だち、先輩、先生方などいろいろな人との新しい出会いの中で、どうだったでしょうか。

口は 人を励ます言葉や感謝の言葉を伝えるために使おう。

耳は 人の言葉を最後まで聞いて受け止めるために使おう。

目は 人の良いところを見つけるために使おう。

手足は 人を助けるために使おう。

そして 心は 人の痛みを理解するために使おう。

学校は多くの人たちが毎日いろいろな感情を持ちながら生きている場所なので、意見の対立があったり、気持ちのすれ違いが起きたり、悲しい思いをしたり、させたりということが起こることがあります。また、誰にだって楽しい学校生活を送りたい、がんばりたいという気持ちがあります。どうしたらみんながさらに気持ちのよい、居心地のよい生活ができるか、それを考え、考えるだけではなくて実行していくことがこれからの課題です。さらにこのことは、学校以外の場でも同じです。たった一つしかない命、生きていることを大切にしてください。

夏休みは 24 日間あります。自分で考えて、チャレンジできる日が 24 日間あります。どういう使い方をしたらいいかを考えて実行する力をつけるチャンスです。「まあ、今日ぐらいはいいや」とか「明日からがんばろう」なんて思っているとあっという間に終わってしまいます。

夏休み明けの 8 月 19 日に、お互いにさわやかな笑顔で会えるように、よい夏休みにしましょう。